

檜枝岐小中学校 理科教育全体計画

めざす児童生徒の姿

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ◇理科が好きな児童。 ◇既習事項や生活体験をもとに観察や実験の結果を予想できる児童。 ◇観察や実験から得た結果をもとに考察したり、科学的に思考したことを適切に表現したりできる児童。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇理科に興味・関心をもち、探究意欲のある生徒。 ◇獲得した知識や技能を活用して、実際の自然や日常生活の中で、適用したり、分析・判断したり、課題を明確にし、科学的証拠に基づいて結論を導き出したりできる生徒。



めざす児童生徒を育てる、9年間連続して取り組む学習スタイル

<p>自然事象への関心を高め、主体的に学習に取り組ませるための指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然に直接触れる野外観察や地域の自然を教材化し、実体験を多く取り入れた授業を行い、知的好奇心や探究心を高める。 ○児童生徒が主体的に問題を見いだすことのできる教材や学習活動を工夫する。 	<p>科学的に思考させ、適切に表現させる手立ての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一人に思考させる十分な時間を確保するとともに、思考したことを科学的な言葉やモデル図などを適切に用いて表現させる学習活動を計画的に設定する。 ○図や表、グラフなどにまとめた結果をもとに分析し、考察し話し合う活動を充実させる。 	<p>基礎操作・実験技能を向上させる指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○探究活動に必要な観察・実験の技能の向上のため、基本操作を習得し、器具や機器などを、目的に応じて扱えるようにする。 ○実験でも個に応じた支援・指導をし、児童生徒ひとりひとりの向上を目指す。
--	---	--



改善すべき児童生徒の実態

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ■ NRT 学力検査では、どの学年も全国・県平均を上回るが、地学・物理分野での個人差が見られる。 ■ 自分の考えを言葉や文章、モデル図で表現する力が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実体験しにくい分野や目に見えない抽象的な分野、計算を伴う分野を苦手とする。 ■ 一部分が苦手でも、その分野すべてが苦手だと思い、学習に対して消極的になることが多い。

4年生 NRT	64.0	通過率(全国73.8 本校92.7) ▼太陽と地面の様子
5年生 NRT	55.5	通過率(全国65.9 本校73.9) ▼月と星・天気の様子
6年生 NRT	61.0	通過率(全国67.3 本校83.3) ▼電流の働き・振り子の運動